

がんと診断された患者さんにご家族が抱える気がかり・辛さを
一緒に考える多職種ケア
ー当センターの多職種の関わりの現状ー

管理栄養士の関わりについて



2026年2月21日（土）

春日部市立医療センター 栄養科

管理栄養士 中山 絢乃

病院の管理栄養士って何をしているの？

- 入院患者の栄養管理
- 栄養指導
生活習慣病、がん、低栄養の方など
- 病院食の献立作成
- ミールラウンド（患者さんが実際に食事をしている様子を観察し摂取状況を判断する活動のこと）
患者さんの状態に合わせた食事内容の調整
- カンファレンスなど 等

がん患者さんが思う食事のイメージ

- がんになってしまったので、食事制限を始めないといけないのかな？
- 他のがん患者さんが「〇〇は食べてはいけない」と言っていたので、自分も食べないようにしよう。
- 好きなものが食べられなくなる
- 心配なことが多くて食べる気にならない
- 最近食べることがおっくうになってきた
- 2～3日くらい食べなくても大丈夫だろう

どうしたらいい
のかしら？



→担当の医師や看護師だけでなく、栄養指導という場で管理栄養士にも相談することができます。

がん患者さんの外来・入院栄養指導

- 栄養指導について（要予約、30分/回）

個々の状態に合わせた食事や栄養についてなんでも相談できます

入院：1週間に1回、計2回まで、外来：初回月2回、それ以降は月1回

悩み①：「がんと言われてショックで食欲がありません」「体重が減っています」

→まずは、今の気持ちや不安、悩みをお聞きします。

→食事に関する不安や悩みに対して、患者さんの症状に合わせた情報提供を行います。

※栄養指導をご希望の方は、担当の医師・看護師にご相談ください



がん患者さんの外来・入院栄養指導

悩み②：化学療法、放射線療法による症状

例）食欲不振、下痢、便秘、味覚やにおいの変化、吐き気、疲れやすくて食事が摂れない など

治療内容によっては、体重増加、中性脂肪高値、コレステロール高値 などの症状が現れることがあります。

悩み③：手術後などに聞かれる言葉

例）痛みなどで食事がとれない、なんとなく本調子じゃない、食欲がわからない、下痢（または便秘、または嘔吐）になるのが怖いのであまり食べないようにしている など

栄養指導では、上記のように、患者さんの治療状況や個人的背景、社会的背景などに合わせたアドバイスをさせていただきます。

入院中のがん患者さんとのかわり

- 食欲不振・・・無理せず食べたいときに食べられそうなものを検討
- 下痢・・・消化に良い食事への変更
- 便秘・・・おなかの調子を整える食事への変更
- 味覚の変化・・・どういった変化か、変化していない味覚を確認し、
美味しく食べられる食品を検討する
- 息苦しい・・・食べ方の工夫、食べやすい（飲みやすい）食品の検討
- 食べにくい・・・原因を探る、調理の工夫、食品の選び方を検討



→管理栄養士は、患者さんの状態に合わせた食事の調整を行っています。

入院中のがん患者さんとのかかわり

例：Aさんのところへ実際に食事をしている様子を見に伺った

悩み：食欲がない、長時間起き上がると疲れる、箸がうまく使えない

提案：これなら食べられそうというものはありますか？

少量で栄養が摂れる食品を試してみませんか？

料理を一口大に切って串にさしてお出ししてみませんか？

対策：好きな食べ物（例えば果物や漬物類など）を付ける

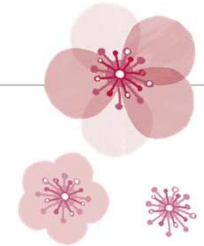
食べられそうな食品に変更（肉が苦手なため肉禁にするなど）

栄養補助食品の活用

料理を一口大に切って串にさして提供する など

最終的には医師や看護師にも相談し、可能な範囲で食事変更を行っていきます。

多職種カンファレンスについて



- 個人的背景、社会的背景について
- 身体的・精神的苦痛、スピリチュアルペインコントロール状況
- 使用している薬剤の副作用の状況について
- 患者さんやご家族の希望について
- 今後の方針、目標について

多職種カンファレンスを行い、上記の情報を共有しながら、入院中・退院後の食事・栄養面のサポートに活かしています。